

厚田区地域おこし協力隊の検証・検討について

【第1期】 導入に向けて	H24. 9 月 地域協議会で「協力隊」導入の方針と検討会設置の提案 【市外人材の誘致、地域力の維持・活性化、定住】 H25. 2 月 検討会発足 H25.12 月 募集開始（想定する活動内容） * 隊員のフレッシュな視点、感性を活かす * 地域の活動団体や町内会などと主体的に関わる * 起業・定住を意識し、自主的に地域活動の企画・実践 H26. 4 月 2 名着任（小島・沼倉）
【第1期】 検証結果	H28. 6 月 地域協議会で検証・検討委員会の設置 ★1 名は 2 年間の任期で事業継承し退任（定住）、1 名も継続居住を希望 ・地域や団体と共に様々な活動をしていた ・お祭りや学校行事など地域の活動にも積極的に参加していた ・隊員同士のネットワークによる活動も見られ興味深かった ・団体の中に新たな動きや、人への作用が見られた ・最長 3 年だが、起業や定住のプレッシャーは大きいだろう ◆地域への導入効果がみられた ◆これまでの隊員主体の活動は評価できる ◆起業等を視野に「業務」として期待する部分も加えては ◆5 人等の多数による活動も（地域に与える影響は）おもしろい
【第2期】 導入に向けて	・協力隊の次期（H29.4 月から）継続 ・活動形態はこれまで同様、隊員の主体的活動を重視する ・「近説遠来」に向け、地域や団体との活動、地域資源の掘り起こし、情報発信といった活動に加え、地域ニーズとの関与にも期待 ・「道の駅」による交流人口増が見込まれるなか、「道の駅」の活用や十字街を初めとする区内への周遊のキーを「食」、「アウトドア」とし、人材の要望方針に加える ・募集人員はこれまでと同じ 2 名とするが、多数による活動も可能性を探る ・成果のみに着目せず、隊員の意思や活動の過程、地域との繋がり方を重視 H29. 5 月 2 名着任（今野・野呂）
【第3期】 導入に向けて	H29. 11 月 地域協議会で検討委員会の設置 【参考】前回の検討委員会構成メンバー 地域協議会 2 名 地域活動団体 2 名 その他地域や JA、JF、商工会等 2 名